

クロス分析の【戦略】【具体策】を反映した(平成25年度)の中期損益計画表 (対策前と対策後)

(単位:千円)

勘定科目		H21.6-H21.12 前期実績	H22.1-H22.12 当期予想	H25.1- H25.12 3年後予想 (対策前)	※予想条件:特段の対策を実行しない自然増のみ(①診療所移転なし+②在宅療養支援診療所の許可あり+③院内処方)	H25.1- H25.12 3年後予想 (対策後)	※予想条件:対策実行後(①診療所移転あり+②在宅療養支援診療所の許可あり+③院外処方+④その他)
医業収益	保険診療収益(外来分)	9,961	25,200	36,160	【医業収益予想】	31,960	【医業収益予想】
	保険診療収益(訪問診療分)	1,107	4,600	6,770	・予想患者数→1日平均40人(現状30人)	34,000	①保険診療収益(外来分)・・・午後の訪問診療を現状の月4回から月8回へ増やす。
	保険診療収益(薬品分)	6,570	17,200	24,750	・診療日数→21.75日/月(現状と同じ)	3,264	・1日当り患者数40人の時間帯別内訳 午前28人(7割)、午後12人(3割)
	自由診療収益	237	500	720	・予想平均単価→約6,900円	720	・午後の訪問診療が月4回増えることにより、外来患者数は12人×4=約50人/月減少する。
	保健予防活動収益	1,086	2,000	2,880	(現状 約6,400円 ※在宅診療所の許可等による増)	2,880	・収益減少額 @6,900円×50人/月×12月=約4,200千円/年
	その他の医業収益	328	500	720	・保険診療収益の内、約1割が訪問診療分(現状と同じ)	720	・対策前収益予想 36,160千円-4,200千円=31,960千円/年
医業収益合計		19,289	50,000	72,000	40人/日×21.75日/月×12月×@6,900円=72,000千円/年	73,544	②保険診療収益(訪問診療分)・・・訪問診療数を月60人(60人÷8回=7.5人/回)に増やす。
変動費	医薬品費	5,973	15,600	22,500	②自由診療・保健予防活動・その他の医業収益	4,412	@47,360円(4,736点×10)×60人/月×12月=34,000千円/年
	診療材料・消耗品費	1,207	1,800	2,592	それぞれ当期予想の1.44倍(72,000千円÷50,000千円=1.44)	2,353	③保険診療収益(薬品分)・・・院外処方により請求分はゼロとなるが、処方箋料が増加する。
	検査委託費	576	1,900	2,736	③保険診療収益合計	2,500	処方箋枚数 約400枚/月×680円×12月=3,264千円
	医業変動費合計	7,756	19,300	27,828	④保険診療収益(薬品分)	9,265	④自由診療・保健予防活動・その他の医業収益は「対策前」と同額とした。
限界利益		11,533	30,700	44,172	医薬品費 22,500千円×1.1倍=24,750千円/年	64,279	【医業変動費予想】
(利益率)		59.8%	61.4%	61.4%	⑤保険診療収益(訪問診療分)	87.4%	①医薬品費・・・院外処方へ移行。医業収益合計の6.0%(TKC医業経営指標参照)とした。
人件費	看護師給与	3,044	7,300	8,650	③×1割=6,770千円/年	8,650	②診療材料・消耗品費・・・医業収益合計の3.2%(医業収益に占める訪問診療の割合が増加する為)
	事務員給与	1,023	2,240	3,500	④保険診療収益(外来分)	3,500	③検査委託費・・・医業収益合計の3.4%(医業収益に占める訪問診療の割合が増加する為)
	法定福利費	416	1,144	1,458	③-④-⑤=36,160千円/年	1,458	【人件費予想】
	福利厚生費	37	76	13,608	①医薬品費・・・医業収益合計の31.2%(当期予想と同じ)	13,608	「対策前」と同じ
	人件費計	4,520	10,760	13,608	②診療材料・消耗品費・・・医業収益合計の3.6%(当期予想と同じ)	13,608	【設備費予想】
設備費	減価償却費	48	420	420	③検査委託費・・・医業収益合計の3.8%(当期予想と同じ)	3,300	①減価償却費・・・建物取得価額 7,000万円、耐用年数29年、定額法
	器械賃借料	4,661	9,396	9,396	【人件費予想】	9,396	・建物分 70,000千円÷29年=2,414千円/年
	地代家賃	6,300	10,800	10,800	①看護師給与・・・月10万円のパート看護師1人採用+昇給 H22年度予想 7,300千円+100千円/月×12月+昇給150千円=8,650千円	2,760	・既存分 420千円/年
	器械保守料	0	1,110	1,110	②事務員給与・・・月10万円のパート事務員1人採用+昇給 H22年度予想 2,240千円+100千円/月×12月+昇給60千円=3,500千円	1,200	・その他新規取得資産に係る分 400千円/年
	器械設備保険料	31	54	54	③法定福利費・・・給与費合計×12% (8,650千円+3,500千円)×12%=1,458千円	300	・合計 2,414+420+400=3,300千円/年
設備費計		11,041	21,780	21,780	【設備費予想】	16,956	②地代家賃・・・土地は賃借する。坪600円で380坪賃借。 600円×380坪=230千円/月→×12月=2,760千円/年
その他諸経費	旅費交通費	0	120	180	【その他諸経費予想】	300	③器械設備保険料・・・火災保険料が増加する。
	車両関係費	232	132	200	「当期予想」と同額とした。	600	③その他・・・「対策前」とほぼ同額とした。
	広告宣伝費	120	551	600	【その他諸経費予想】	600	【その他諸経費予想】
	消耗品・器具備品費	698	420	450	①旅費交通費・車両関係費・・・訪問診療の増加により増加する。	500	①旅費交通費・車両関係費・・・訪問診療の増加により増加する。
	租税公課	24	36	50	②租税公課・・・固定資産税がH25年度より発生する。	900	②租税公課・・・固定資産税がH25年度より発生する。
	水道光熱費	404	540	700	・固定資産税課税標準額予想 50,000千円×1.6%=800千円/年	800	・固定資産税課税標準額予想 50,000千円×1.6%=800千円/年
	その他	2,978	3,384	3,400	・その他 100千円/年	3,600	・その他 100千円/年
その他諸経費計		4,456	5,183	5,580	「当期予想」とほぼ同額とした。	7,300	・合計 800+100=900千円/年
医業固定費合計		20,017	37,723	40,968		37,864	③その他・・・「対策前」とほぼ同額とした。
営業利益		-8,484	-7,023	3,204	←当期予想には2,000千円の臨時収益(補助金)が含まれている。	26,415	
医業外収益		5,015	2,084	120		120	
医業外収益計		5,015	2,084	120		120	
支払利息		0	1,213	746		3,800	←1.2億円借入、20年返済、利率3.0%、1年据置で試算。(既存借入は一本化)
医業外費用計		0	1,213	746		3,800	
経常利益		-3,469	-6,151	2,578		22,735	
所得税等		0	0	0	←純損失の3年繰越により所得税等はゼロと予想した。	9,094	←税率は40%とした。
(A)	税引後利益	-3,469	-6,151	2,578		13,641	
(B)	減価償却費(+)	48	420	420		3,300	
(C)	キャッシュ・フロー((A)+(B))	-3,421	-5,731	2,998		16,941	
(D)	店主貸勘定(院長生活費等)(-)	-7,580	-4,190	0		-8,400	←月額700千円を院長生活費として支払う。
(E)	店主借勘定(事業外資金受入等)(+)	0	5,150	0		0	
(F)	借入金返済可能額 ((C)-(D)+(E))	-11,001	-4,771	2,998		8,541	
(G)	借入金返済額合計 (以下内訳)	0	3,132	3,696		6,000	※H23.9月 金融機関より1.2億円の融資を受ける
借入先	●●公庫 1,500万円 期日 H28.11.5 (H21.12.14借入)	0	2,007	2,196		0	(既存借入一本化+1年据置)
	●●行 1,500万円 期日 H32.3.30 (H22.3.31借入)	0	1,125	1,500		0	
	○○銀行 12,000万円 20年返済 利率3.0% 1年据置	-	-	-		6,000	【融資金額内訳】
借入金残高	(●●公庫)	15,000	12,993	6,405		0	・建物建築資金: 70,000千円
	(●●銀行)	0	13,875	9,375		0	・構築物・備品等購入資金: 5,000千円 (構築物 4,000千円 備品 1,000千円)
	(○○銀行)	-	-	-		112,500	・既存借入金残高: 24,404千円
	合計	15,000	26,868	15,780		112,500	・運転資金: 20,000千円 (医業収益 6,000千円/月×3月分+不動産取得税 2,000千円)
資金過不足額 ((F)-(G))		-11,001	-7,903	-698		2,541	